

# 千貫石ため池

(せんがいしためいけ)



全景



上流よりため池堤体を望む

## ため池の概要

### ため池の所在地

岩手県胆沢郡金ケ崎町

### ため池の特徴

千貫石ため池は、穀倉地帯金ケ崎町、北上市の1,360haに及ぶ広大な農地を潤すため池です。「千貫石」の名は、起工より貞享元年(1684年)までの3年間は毎年工事途中で堤切れが発生したため、村人は千貫文のお金を集め、南部釜石から「お石」という娘を買い求めて人柱とし、工事を乗り切ったという悲しい言い伝えが由縁となっています。

ため池の歴史は古く、江戸時代の元和4年(1618年)に伊達正宗がこの地を開田適地と見立てたことに始まります。元禄4年(1691年)に苦勞の末に堤高40mの土堰堤が完成しましたが、1777年に大破し、以来150年間手つかずのままとなり、干ばつに苦しんでいました。

昭和6年になって新たな築造工事が開始され、同10年に竣工し、以後幾度かの改修を経て現在に至っています。

千貫お石が祀られている小高い山頂からは金ケ崎町の田園風景が一望でき、湖畔周辺の森林群と駒ヶ岳山麓がかもしだすコントラストは絶景です。

現在ではキャンプ場が池に隣接して設けられており、都市農村交流の場としても活用されています。

## 関連情報

岩手中部土地改良区ホームページ

<http://www.iwate-c.or.jp/>